ボーリング柱状図

調　査　名　西隈上団地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

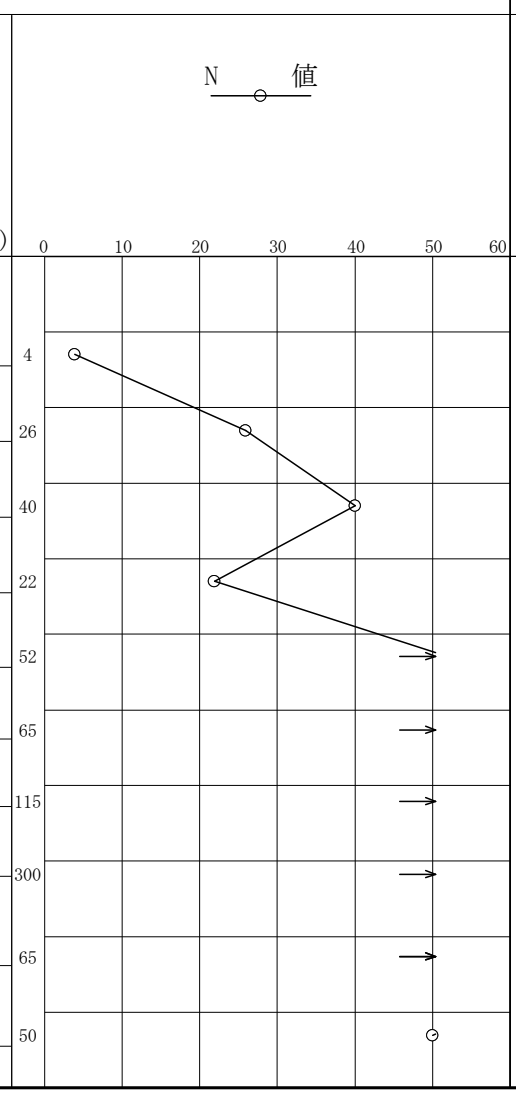
シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	福岡県うきは市浮羽町西隈上							北緯	33° 20’ 17”
発注機関	うきは市			調査期間	令和 6年 6月 3日 ～ 6年 6月 7日					東経	130° 47’ 26”
調査業者名	信友ボーリング工業株式会社 電話（0949-28-8150）	主任技師	森 昭司	現場代理人	花元 繁則	コア鑑定者	花元 繁則			ボーリング責任者	久富 浩喜
孔口標高	KBM -0.75m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM-5	ハンマー落下用具 半自動落下
総掘進長	10.00m								エンジン	ヤンマー NFAD-8型	ポンプ YBM GP-3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	-1.55	0.80	0.80		盛土・砂質土	淡褐			礫混じりシルト混じり砂である。粒径不均一である。φ2～40mmの礫を混入する。	
1 2	-3.15	1.60	2.40		粘土質砂礫	暗褐～暗赤褐			φ2～70mmの礫を混入する。マトリックスは粘土質砂である。	6/3 2.55
3 4 5 6	-7.15	4.00	6.40		粘土混じり砂礫	暗褐灰			φ2～70mmの礫を50～70%混入する。礫種は硬質な安山岩が主体である。所々にφ100mm程度の玉石を混入する。マトリックスは粘土混じり砂である。含水は中位である。	
7 8	-9.05	1.90	8.30		玉石混じり砂礫	褐灰			φ2～250mmの礫および玉石を50%程度混入する。礫種は硬質な安山岩が主体である。マトリックスは粘土混じり砂である。含水は中位である。	
9 10	-10.75	1.70	10.00		粘土混じり砂礫	褐灰			φ2～70mmの礫を40%程度混入する。礫種は硬質な安山岩が主体である。マトリックスは粘土混じり砂である。含水は中位である。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	2	1	4/30	4
1.45 2.15	8	10	8	26/30	26
2.45 3.15	16	12	12	40/30	40
3.45 4.15	4	11	7	22/30	22
4.45 5.15	19	16	15/9	50/29	52
5.44 6.15	15	21	14/3	50/23	65
6.38 7.15	33	17/3		50/13	115
7.28 8.15	50/5			50/5	300
8.20 9.15	15	21	14/3	50/23	65
9.38 10.15	13	15	22	50/30	50
10.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						6/3
						6/4
						6/5
						6/6

ボーリング柱状図

調　査　名　西隈上団地地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

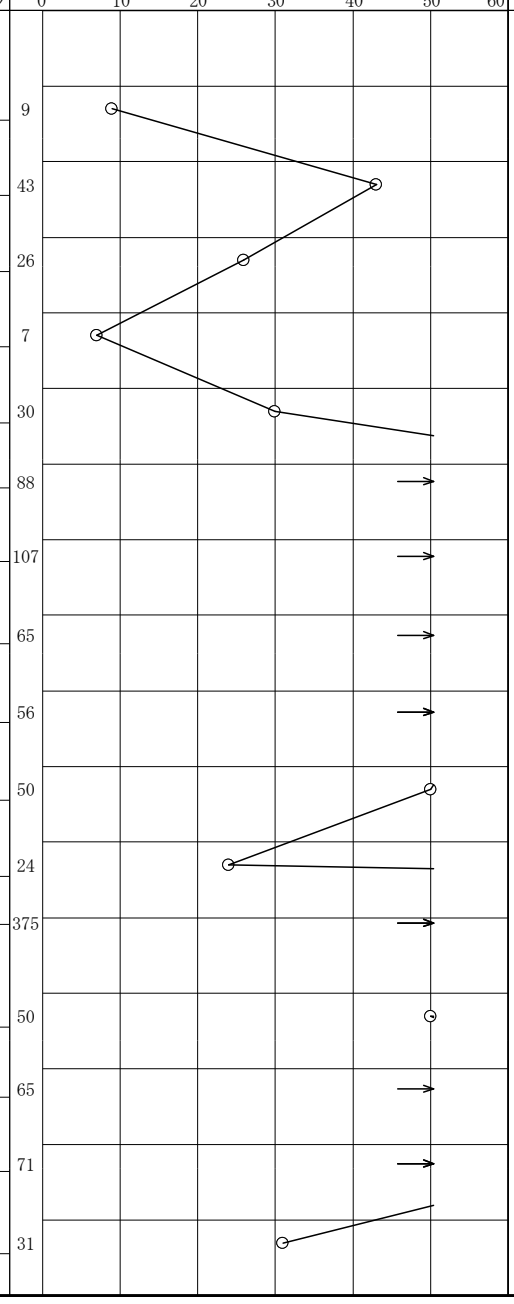
シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	福岡県うきは市浮羽町西隈上							北緯	33° 20’ 15”
発注機関	うきは市				調査期間	令和 6年 6月 10日 ～ 6年 6月 17日				東経	130° 47’ 30”
調査業者名	信友ボーリング工業株式会社 電話（0949-28-8150）	主任技師	森 昭司		現場代理人	花元 繁則	コア鑑定者	花元 繁則		ボーリング責任者	久富 浩喜
孔口標高	KBM -0.81m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 0°	使用機種	試錐機	YBM-5	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	16.00m								エンジン	ヤンマー NFAD-8型	ポンプ	YBM GP-3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1	-1.81	1.00	1.00		盛土・礫質土	淡褐灰			0.1mまで砕石である。下位はシルト質砂礫で非常に不均質である。φ2～50mmの礫・コンクリート片およびタイル片を混入する。	
2	-2.56	0.75	1.75		シルト混じり砂	褐			中砂主体である。φ2～5mmの小礫を若干混入する。	6/11 2.45
3	-4.56	2.00	3.75		粘土混じり砂礫	褐灰			φ2～70mmの礫を30～40%混入する。所々にφ100mm程度の玉石を混入する。マトリックスは粘土混じり砂である。含水は中位である。	
4	-5.81	1.25	5.00		礫混じりシルト混じり砂	褐			粒径不均一である。φ2～20mmの礫を混入する。含水は中位である。	
5	-6.41	0.60	5.60		粘土混じり砂礫	褐灰			φ2～50mmの礫を混入する。マトリックスは粘土混じり砂である。含水は中位である。	
6					玉石混じり砂礫	暗灰褐			φ2～150mmの礫および玉石を50～70%混入する。礫種は硬質な安山岩主体である。マトリックスは粗砂主体である。含水は中位である。	
9	-9.61	3.20	8.80		粘土質砂礫	褐～褐灰			φ2～70mmの礫を40～50%混入する。礫種は硬質な安山岩主体である。所々にφ100mm程度の玉石を混入する。マトリックスは粘土混じり砂である。含水はやや低い。10.0～11.7m間は礫の混入率が20～30%と低い。	
16	-16.81	7.20	16.00							

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	3	4	9／30	9
1.45 2.15	14	21	8	43／30	43
2.45 3.15	9	7	10	26／30	26
3.45 4.15	2	2	3	7／30	7
4.45 5.15	8	11	11	30／30	30
5.45 6.15	23	27／7		50／17	88
6.32 7.15	31	19／4		50／14	107
7.29 8.15	16	22	12／3	50／23	65
8.38 9.15	18	18	14／7	50／27	56
9.42 10.15	11	16	23	50／30	50
10.45 11.15	6	8	10	24／30	24
11.45 12.05	50／4			50／4	375
12.09 13.15	7	19	24	50／30	50
13.45 14.15	5	32	13／3	50／23	65
14.38 15.15	7	36	7／1	50／21	71
15.36 16.15	6	16	9	31／30	31
16.45					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
						6/10
						6/11
						6/12
						6/13
						6/14